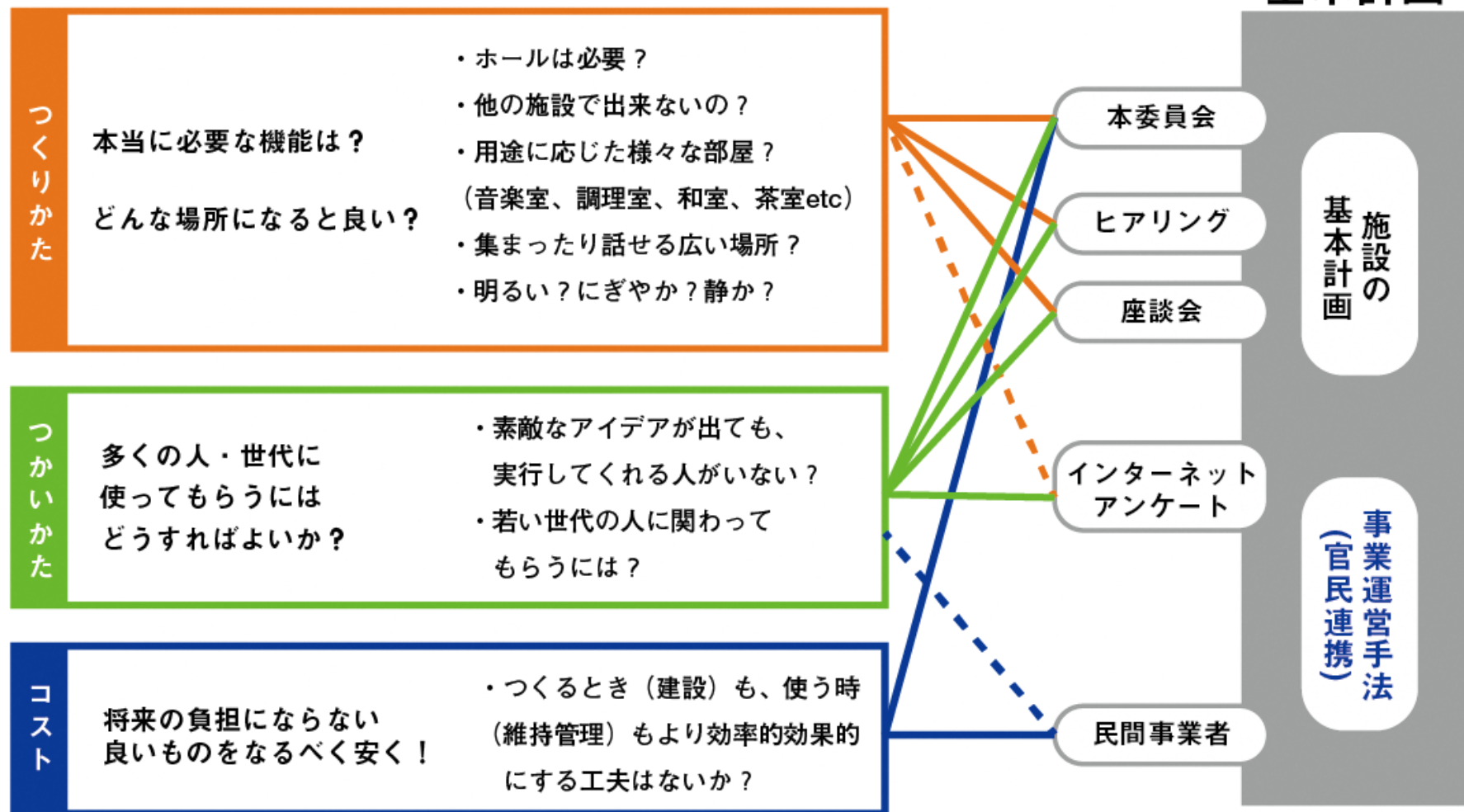


令和2年度 第3回  
全世代・全員活躍まちづくりセンター  
整備検討委員会

2020.10.9

# はじめに

## ■ 検討におけるポイント



# 1. 委員ヒアリング結果まとめ

---

## ■ ヒアリング概要

- 9月11日（金）に住民委員8名の方全員から、新しいまちづくりセンター整備に向け、個別にお話を伺いました。ご協力有難うございました。
- その際に、委員の皆様から頂いた様々なご意見等について、「概要版」として次ページからご紹介させていただきます。

# 1. 委員ヒアリング結果まとめ

## ■ ヒアリング結果まとめ

全体コンセプト	<ul style="list-style-type: none"><li>• 今までの中央公民館は特別な時だけに行く場所。高齢者、サークル参加者だけが集まる場所、とのイメージ。</li><li>• 新しいまちづくりセンターは、若い人が気軽に立ち寄り、集まれる場所が良い。</li><li>• 町内には施設がたくさんある。重複機能等を検討・整理し、必要最低限の機能にすべき。将来の維持管理費等が心配。</li></ul>
ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>• ホールの利用は主に特別なイベントの時のみ。利用率は高くない。必要な時だけホールになるような工夫は出来ないか。</li><li>• ゆうホールでは大きな音が出せないなので、多目的（音の出せる）ホールが欲しい。</li><li>• 多目的ホールとしてゆうホールがあるので、専用のホールが欲しい。</li><li>• ホールがあれば、以前のように近隣市町と持ち回りのイベントも開催出来る。</li></ul>
諸室	<ul style="list-style-type: none"><li>• 出来るだけオープンなスペースにした方が色々な使い方が出来て良い。</li><li>• 会議室は企業も利用しており、重要な収入源にもなっている。</li><li>• 音楽室、和室、調理室等は残して欲しい。サークル活動でのニーズも高い。</li><li>• 図書館機能は広い世代の交流促進に役立つのではないか。</li></ul>

# 1. 委員ヒアリング結果まとめ

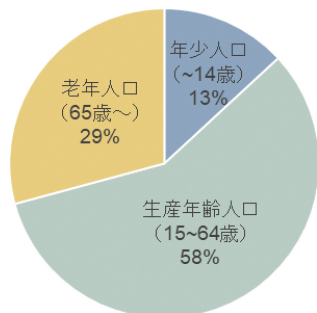
## ■ ヒアリング結果まとめ

既存他施設との関係	<ul style="list-style-type: none"><li>• ゆうホールは図書館併設かつ近くに団地やこども園もあり、町内外の人に多く利用されている。</li><li>• 未就学児の親は、あいあいホールによく集まっている。</li><li>• （車が運転できる大人は）楽しい場所であれば、町の東から西への移動はそれほど問題でない。</li></ul>
住民参加・運営	<ul style="list-style-type: none"><li>• 運営等を引き受けてくれる人がなかなかいない。成人式の委員や子育てサークルのリーダー等も成り手がいない。</li><li>• 自分で声を上げないだけで、実はやりたい人は結構いるのではないか。誰かの企画に乗る人は少なくない。</li><li>• 高校生はターゲットとして重要。ボランティアとして巻き込む方法はないか？</li><li>• まちづくりセンターは、住民の協議会が運営出来るようになると良い。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>• 外部講師による習いごとの教室の需要は高いのではないか。</li><li>• サークル等で作ったものを展示出来るスペースが欲しい。</li><li>• 子どもが体を動かして遊べるスペースが欲しい。</li><li>• 会社を訪問したお客さんとビジネスランチが出来る場所が欲しい。</li></ul>

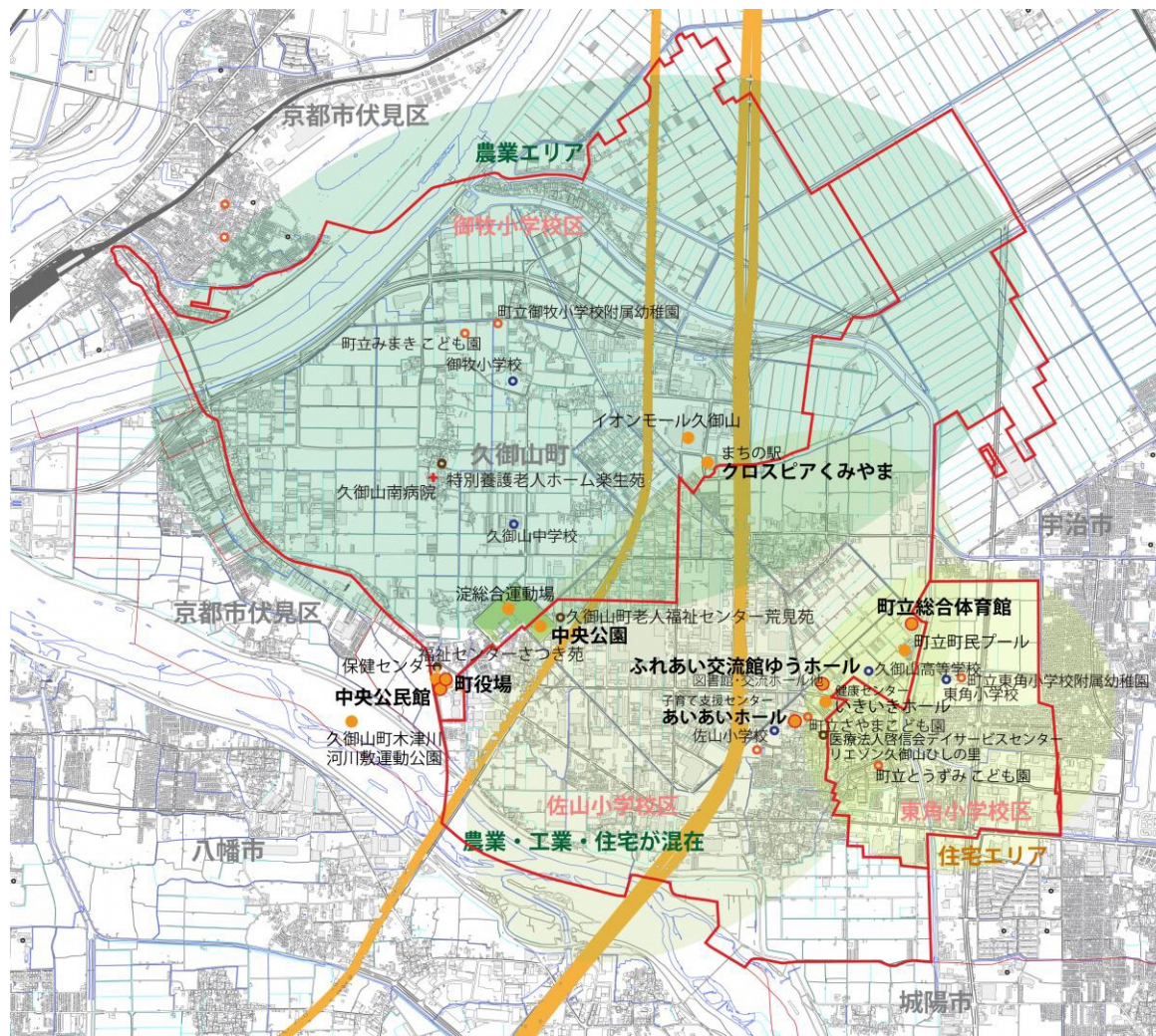
## 2. 現状分析

### ■ 関連施設等の立地状況

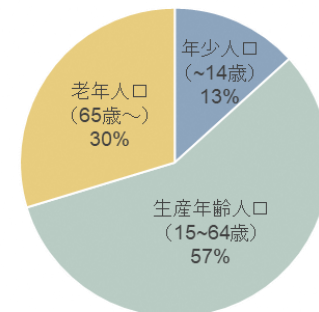
御牧地区(合計3938人)



(出典) 平成27年国勢調査

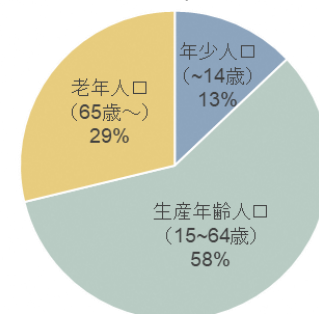


佐山地区(合計6424人)



(出典) 平成27年国勢調査

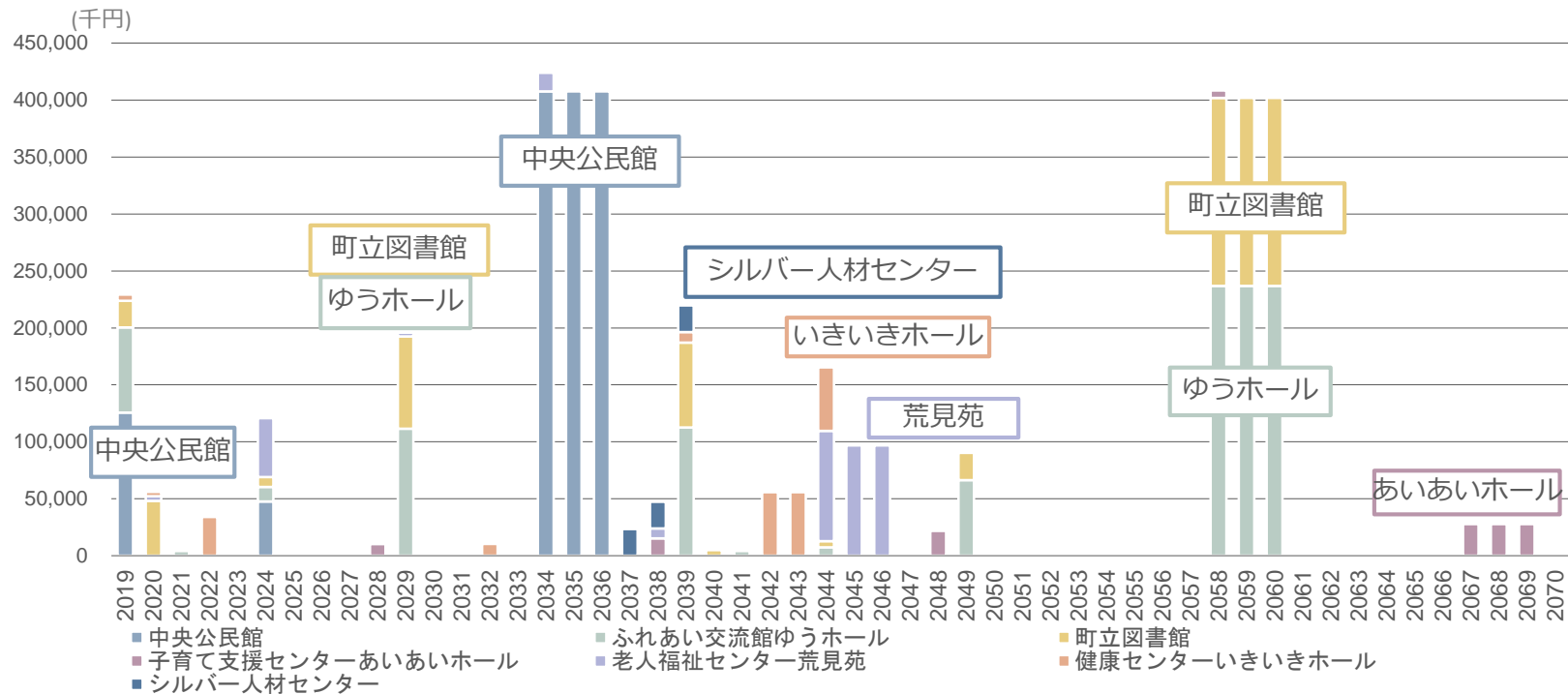
東角地区(合計5443人)



(出典) 平成27年国勢調査

## 2. 現状分析

### ■ 町内の主要施設の建替え・維持修繕費の試算



	建築年度	建替え年度	建て替え費用(千円)	建替えまでの大規模修繕費(千円)
中央公民館	1975	2035	1,223,168 (見積額：約16億円)	173,077
ふれあい交流館ゆうホール	1999	2059	710,780	394,140
町立図書館	1999	2059	495,108	269,456
子育て支援センターあいあいホール	2008	2068	83,474	57,619
老人福祉センター荒見苑	1985	2045	290,826	83,903
健康センターいきいきホール	1983	2043	167,033	65,144
シルバー人材センター	1978	2038	69,772	1,094

※建て替え費用 = 現在の延床面積 × 理論更新単価 → 中央公民館 = 3,058㎡ × 40万円

(出典) 久御山町個別施設計画

## 2. 現状分析

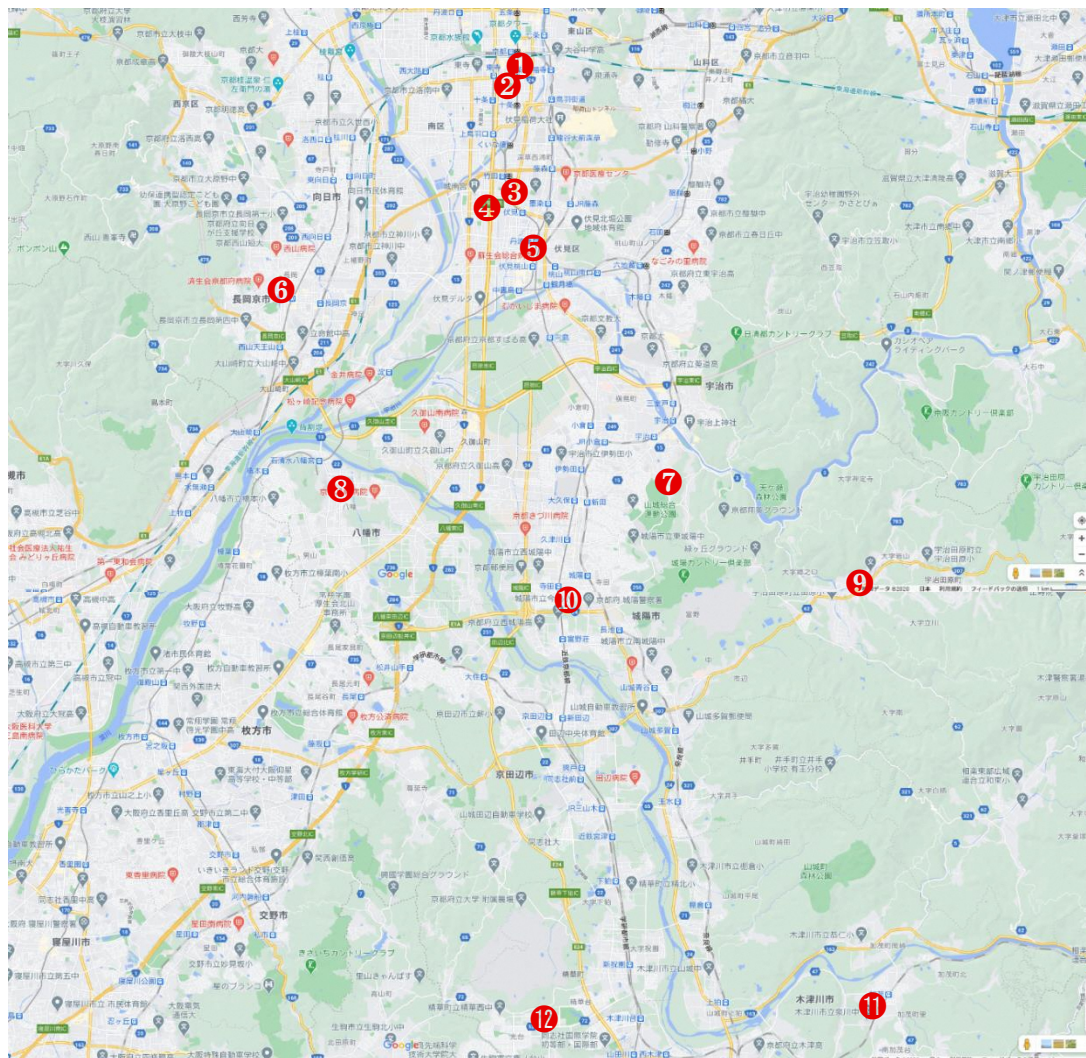
### ■ 中央公民館 vs ゆうホール

	中央公民館	ゆうホール
施設の概要	建築：1975年 ホール（定員：690名） 会議室、音楽室、調理実習室、 教養室、和室、	建築：1999年 交流ホール（定員：220名） 図書館 学習室、ボランティアルーム、教育相談室 創作活動室、ミーティングルーム 交遊室、天文スペース
立地特性	町役場に隣接 人口	比較的人口の多いエリアに立地 周囲にも関連の施設が多い
ホール	成人式や発表会等の行事に利用	楽器演奏不可（図書館があるため）
ホール以外	サークル活動、企業による会議室利用	図書館は町内外の利用者が多い 学習室を利用する中高生も



## 2. 現状分析

### ■ 久御山町近隣に位置する収容人数300人以上のホールの分布

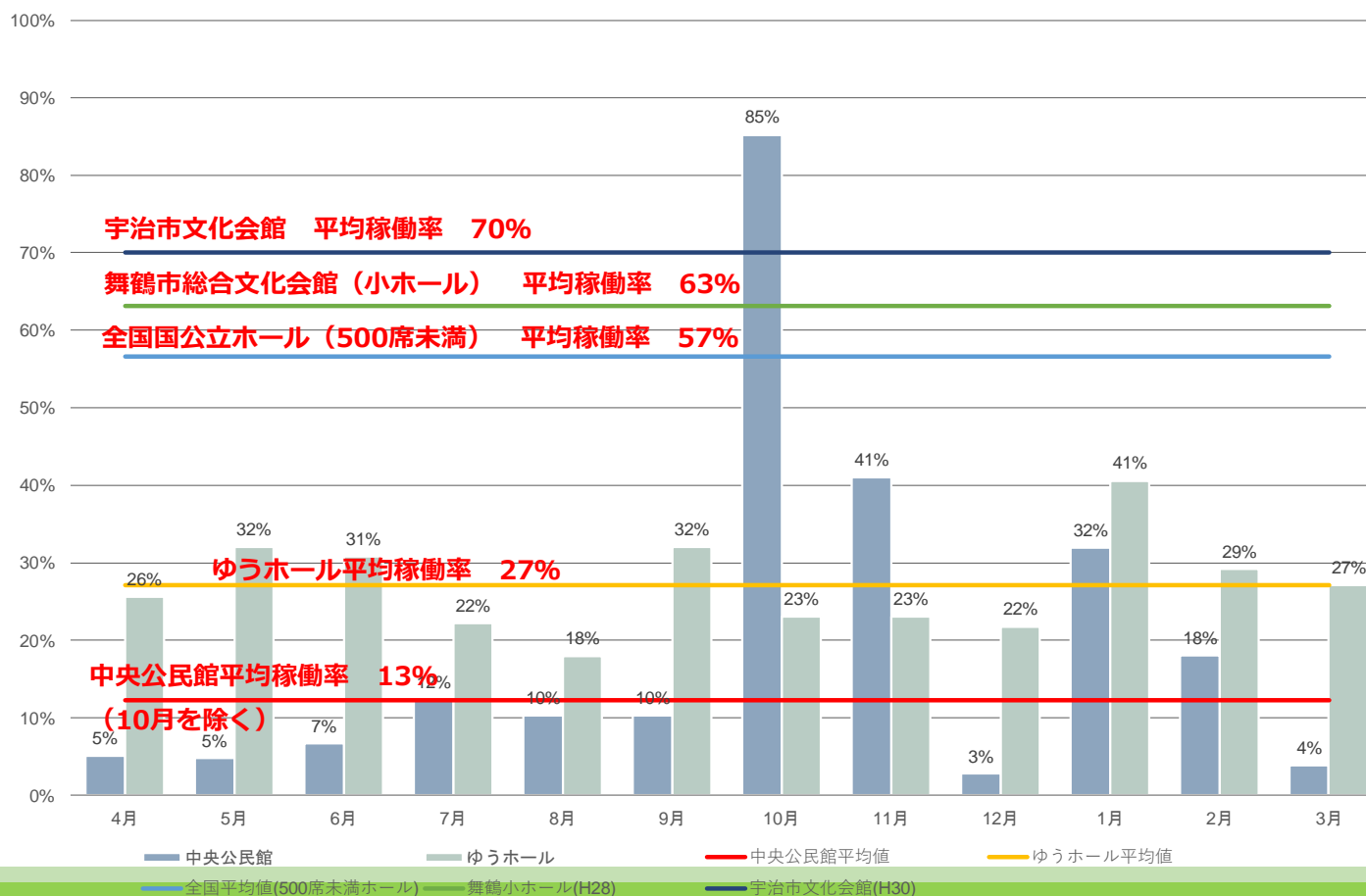


No	ホール	収容人数
①	龍谷大学響都ホール	362
②	京都府民総合交流プラザ	570
③	BUZZ	300
④	京都パルスプラザ	700
⑤	京都市呉竹文化センター	600
⑥	京都府長岡京記念文化会館	1000
⑦	宇治市文化センター	1311、394
⑧	八幡市文化センター	1210
⑨	宇治田原町立総合文化センター	400
⑩	文化パルク城陽	1305
⑪	木津川市加茂文化センター	500
⑫	けいはんなプラザ	1000、350

## 2. 現状分析

### ■ 中央公民館およびゆうホールのホール稼働率

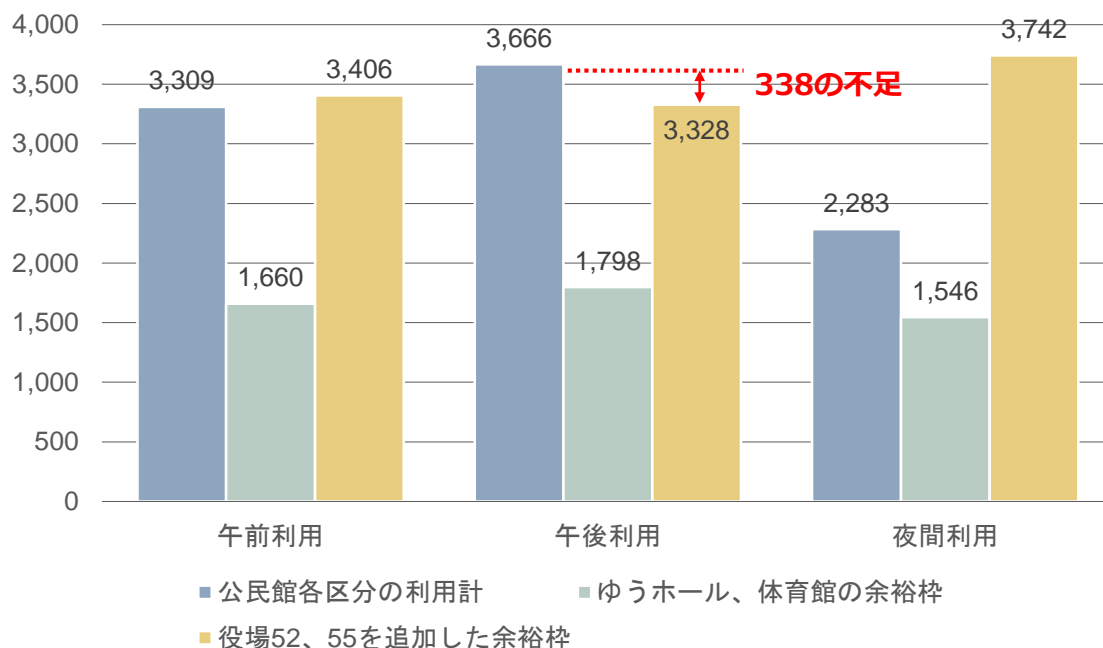
- 中央公民館のホールは、文化祭のため10月の稼働率が非常に高いが、年間の平均稼働率は全国平均および周辺自治体等と比較すると低い
- ゆうホールのホールは、中央公民館と比較すると稼働率は高いが、全国平均および周辺自治体等と比較しても低い



## 2. 現状分析

### ■ 中央公民館とその他施設の会議室における利用者と収容可能人数の比較

- 平成29年度において、最も利用が集中した11月で比較
- 午前、午後、夜間ともゆうホール・体育館の会議室だけでは、中央公民館の会議室のニーズは吸収できない
- 役場の会議室を含めても、午後は388人分不足している

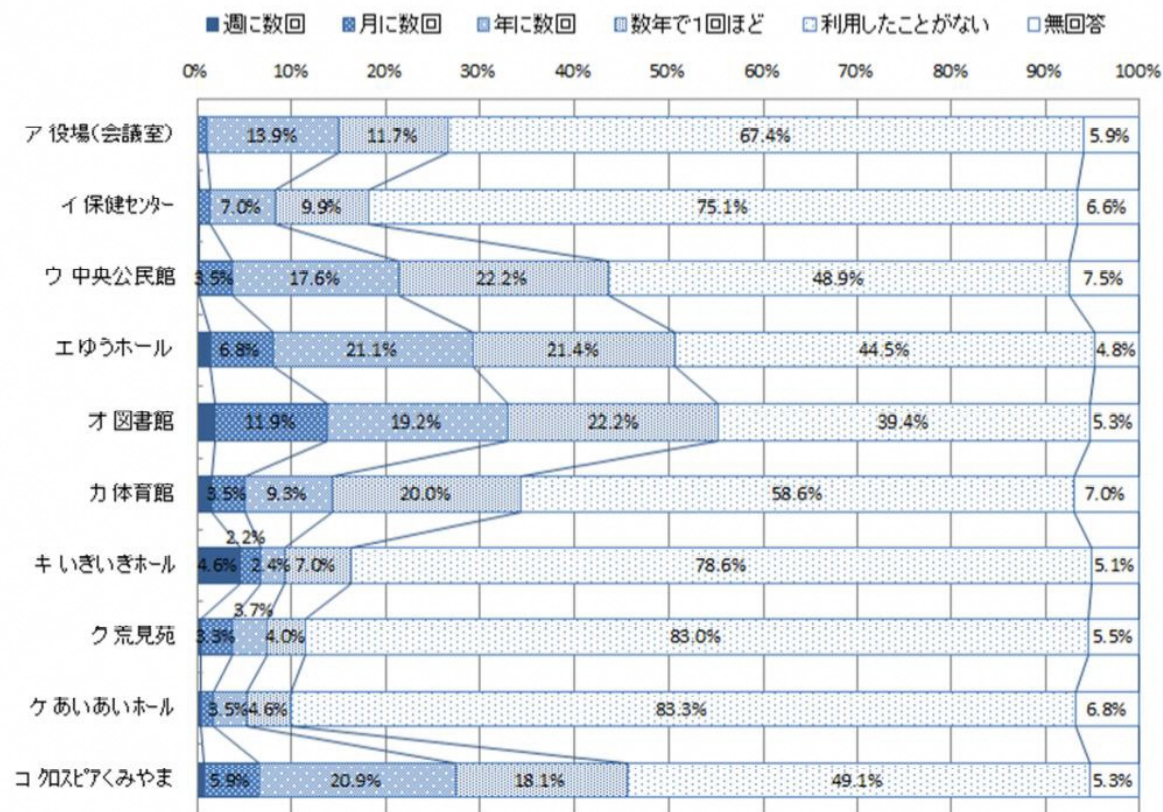


出典 平成30年 久御山町中央公民館あり方検討委員会 意見参考資料より作成

## 2. 現状分析

### ■ 住民アンケートによる公共施設・中央公民館の利用頻度

- 中央公民館は、回答した住民の約半数が未利用
- 利用者の約4割は、年に数回、数年で1回の利用頻度
- ゆうホールは中央公民館と比較して、若干利用頻度が高い



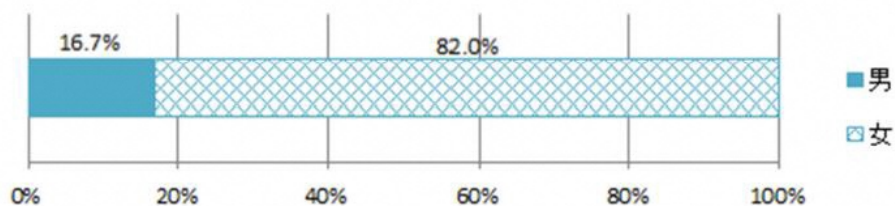
出典 平成30年 公共施設・中央公民館のあり方に関するアンケート 調査結果報告書

## 2. 現状分析

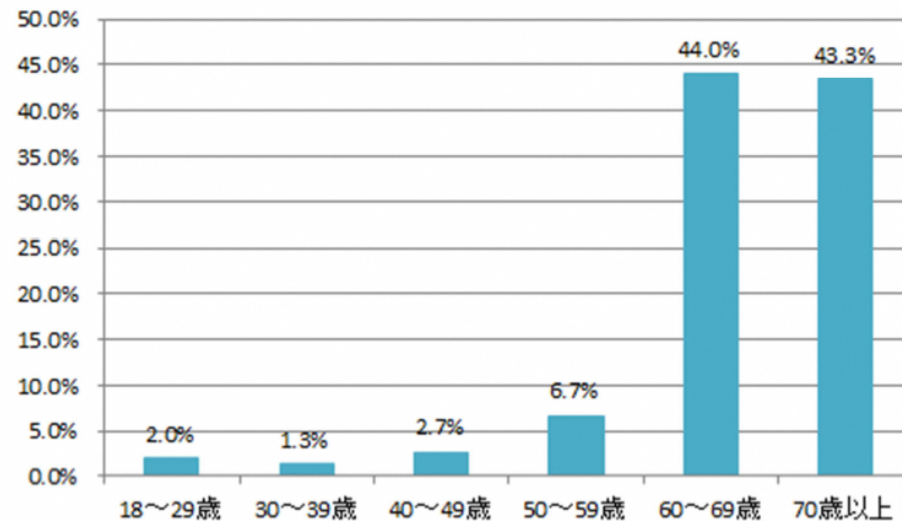
### ■ 中央公民館のあり方に関する文化サークルアンケートの属性

- サークルアンケートの回答者の約8割が女性
- 回答者の年齢は、8割以上が60歳以上

### ■ 回答者の性別



### ■ 回答者の年齢

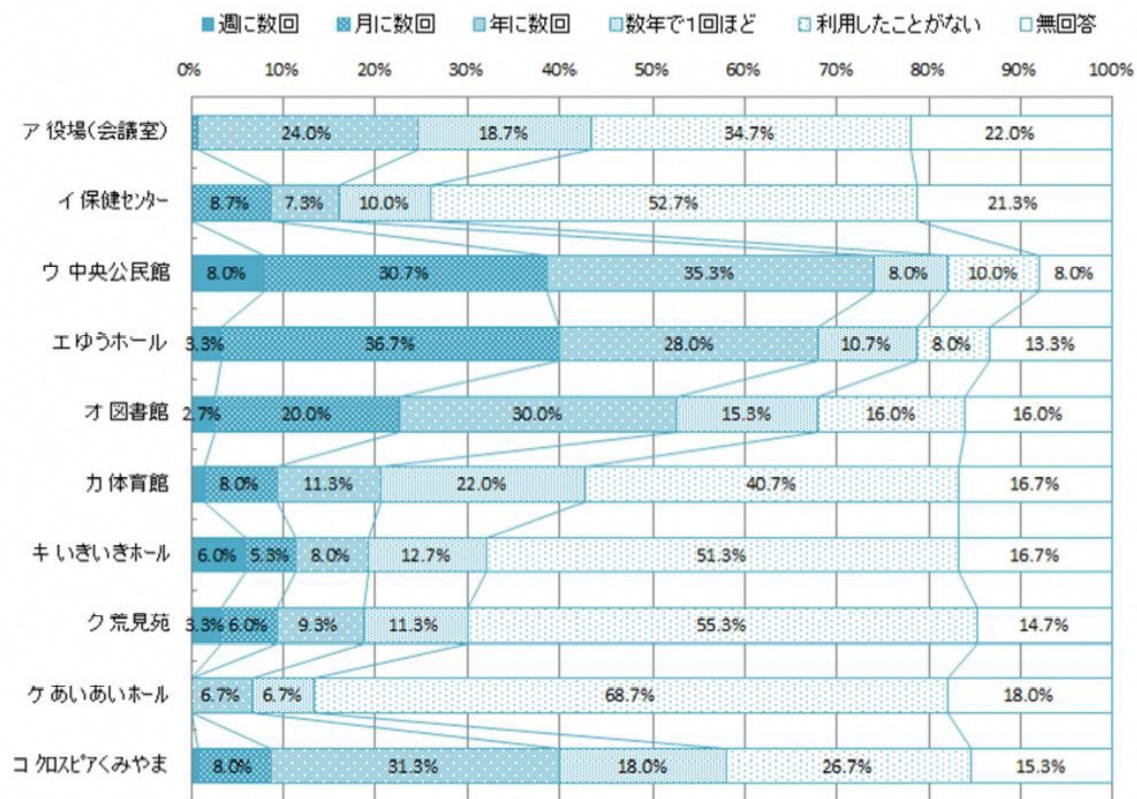


出典 平成30年 公共施設・中央公民館のあり方に関するアンケート 調査結果報告書

## 2. 現状分析

### ■文化サークルアンケートによる公共施設・中央公民館の利用頻度

- 文化サークルの利用頻度は、ゆうホールと共に高い
- 中央公民館は、週に数回が8%、月に数回が30.7%

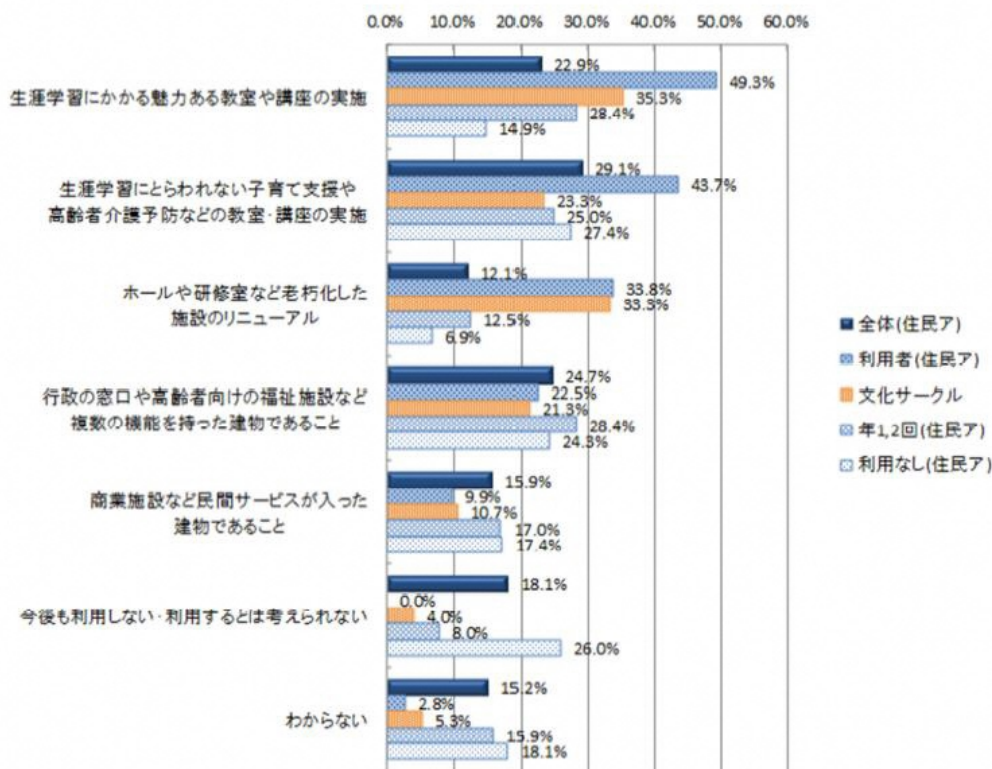


出典 平成30年 公共施設・中央公民館のあり方に関するアンケート 調査結果報告書

## 2. 現状分析

### ■ 住民アンケートと文化サークルアンケートの結果比較

- 今後の利用について、重要と思うことについて比較
- 魅力ある教室や講座の実施は高いが、住民の利用者の方がより重要と認識
- 施設のリニューアル、複合機能化は次いで高く、住民とサークルの利用者双方で重要と認識

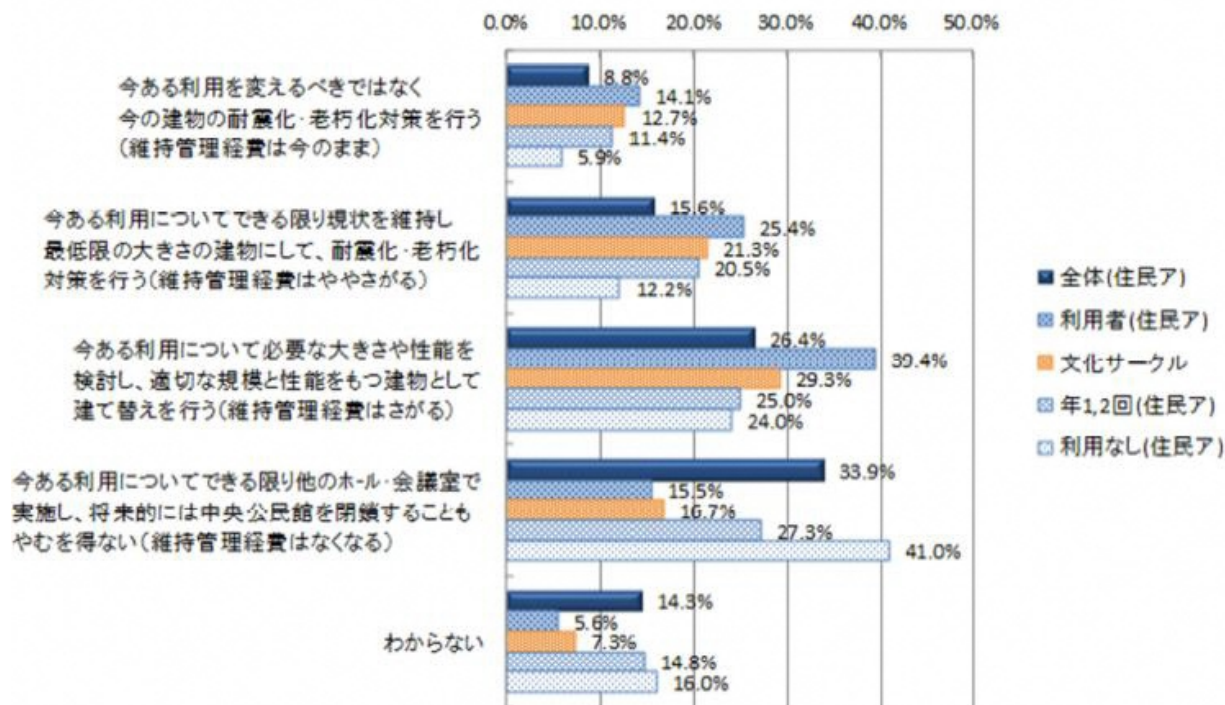


出典 平成30年 公共施設・中央公民館のあり方に関するアンケート 調査結果報告書

## 2. 現状分析

### ■ 住民アンケートと文化サークルアンケートの結果比較

- どのような公民館が望ましいかについて比較
- 適切な規模と性能を有す建物としての建て替えが、全体的に高い結果




出典 平成30年 公共施設・中央公民館のあり方に関するアンケート 調査結果報告書



## 2. 現状分析

### ■ ホール・会議室の利用率、住民・サークルアンケートのまとめ

項目	現状分析のまとめ
ホール利用状況	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 中央公民館のホール稼働率は、10月（文化祭によるピーク）を除くと年平均で13%となり、周辺自治体、全国平均と比較しても非常に低い</li><li>➤ ゆうホールのホール稼働率は、年平均で27%となり、周辺自治体、全国平均と比較しても低い</li><li>➤ 町全体としてホールの稼働率は低い</li></ul>
会議室利用状況	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 利用が集中する10月、11月。1月は、ゆうホールや体育館、市役所等の他の公共施設の会議室を利用する必要がある</li></ul>
住民アンケート	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 回答者の半数以上が60歳以上の高齢者</li><li>➤ 回答者の約9割が未利用、数年で1回、年に数回の利用となり、ほとんどの町民が利用していない</li></ul>
文化サークルアンケート	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 魅力のある講座等の実施のニーズが高く、商業施設や民間サービスのニーズは低いが、回答者の8割が女性で8割以上が60歳以上の高齢者となり、町全体から見ると一部の意見と考えられる</li></ul>

- 
- まちづくりセンターの整備に当たっては、現在利用している層の「魅力のある講座等の実施等」というニーズを大切にしつつ、これまで把握できていない年齢層のニーズについての把握・反映が重要

### 3. 導入すべき機能の検討

#### ■ 「7つの機能」の対応方針案

★要検討事項

	まちづくりC整備に関し CCACに示された方向性	現状	対応方針の案と 要検討事項
①子育て支援	子どもの遊びスペースを兼ね備えた相談室や妊産婦等を対象とした教室  子育てに関連する講座	少子化が進展  保健センターやあいあいホールなどがある  親子や子どもが室内で過ごす場にニーズ有（年代別）  子育てサークルなど保護者の主体的な活動意欲は弱い	★就園前、3～5歳児、小学生を想定した専用スペースを設けるかどうか  ★子育て関連の居場所・講座は引き続きあいあいホールの方が需要が高い？⇒みまき側にも必要？
②子供からシニア世代、高齢者の活動支援	現老人福祉センターのサークル活動を多世代の交流の場として拡大  文化・芸術、健康、スポーツ、介護予防の学習など、生涯現役の意識づけ	中央公民館で従来の公民館活動の制約の中でサークル活動や講座を実施  ゆうホール、体育施設等がある  高齢化に伴い自力での移動・訪問が困難な高齢者が増える	様々なプログラム等が実施可能な諸室設定を行う  ★サークル活動・学習プログラムの内容充実は、むしろ「使い方」の問題  ★荒見苑
③生涯学習環境の充実	自身が学び、深め、他に伝えるという、個から集団へと学習の環がつながり		現在の高齢者向けの機能・活動は当面そのまま  荒見苑ではカバーできない多世代型の活動等をまちづくりセンターに

### 3. 導入すべき機能の検討

#### ■ 「7つの機能」の対応方針案

	まちづくりC整備に関し CCACに示された方向性	現状	対応方針の案と 要検討事項
④多世代交流・多文化交流	目的がなくても気軽に立ち寄れる空間を設定  自然と顔見知りになり新しい交流が生まれるような場作り  世代や文化を超えて交流ができるような機会を提供	中央公民館はサークル活動や講座参加者が行く場所で、ぶらりと立ち寄りづらい  気軽に立ち寄れる空間は住民からのニーズが高い	目的がなくても気軽に立ち寄れる空間を作る  ★「図書室機能」をどうするか
⑤社会福祉領域との連携・協働	心に不安抱える人や発達に課題が見られる人たちに自由に表現してもらえる場  療育環境の場  当人や家族が交流できる場	未就学児の療育については、保健センターの2階で行っている。 落ち着いた環境が必要	親子が落ち着いて安全に過ごす場が必要で、保健センター内が妥当  ★まちづくりセンターには統合しない
⑥防災	災害時の避難場所となる設備を備える  防災学習等に取り組む拠点	被災時に柔軟に対応できるオープンスペースが不足している  地域防災計画により、非常時には臨時救護所、応急教育教室として開設	避難所としての機能は必要  ★⑦と合わせて防災教育の場としても位置付け
⑦文化財	資料の保管や展示企画  旧山田家住宅の活用と連携	中央公民館で、文化財の保管・展示を実施  クロスピア・ゆうホールにおいて歴史・産業関連の展示あり	センターの1角に防災・歴史紹介コーナーを設置  ★保管スペースは広い場所を必要とするため、収蔵方針も含めて検討が必要

### 3. 導入すべき機能の検討

#### ■ 専用ホール OR 多目的ホール

##### 専用ホールに求められる仕様および設備例

- ・ 吸音、消音に配慮した内装デザイン  
(材料選定、表面の形状操作)
  - ・ 舞台および舞台袖(下手/上手)
  - ・ 客席(プロセニウム型orオープン型orアダプタブル型)
  - ・ 前室
  - ・ 調整室(音響調整室・調光操作室・投影室等)
  - ・ 投光室(スポットライト)
  - ・ ホワイエ
  - ・ 楽屋
  - ・ 荷解場
  - ・ ピアノ庫(ピアノがある場合のみ)
- ・ 舞台設備機械室
  - ・ 舞台設備一式  
舞台機構  
吊物機構設備、床機構雪衣や音響反射板 等々  
舞台照明  
サスペンションライト、スポットライト、フットライト等  
電気音響  
ミキサー、スピーカー、舞台袖操作部等々[ホール外]
- ※青字の設備等は、一定期間の後更新が必要

##### 定期的にメンテナンスを要するもの

- ・ 年2回程度の保守点検（吊り物、音響、調光等設備の動作確認）、必要に応じて修繕費

多目的ホールにどこまでの機能をもたせるのかが課題であり、一方で、使い方を限定させず、利用頻度を高める工夫により費用対効果をあげることが求められる。

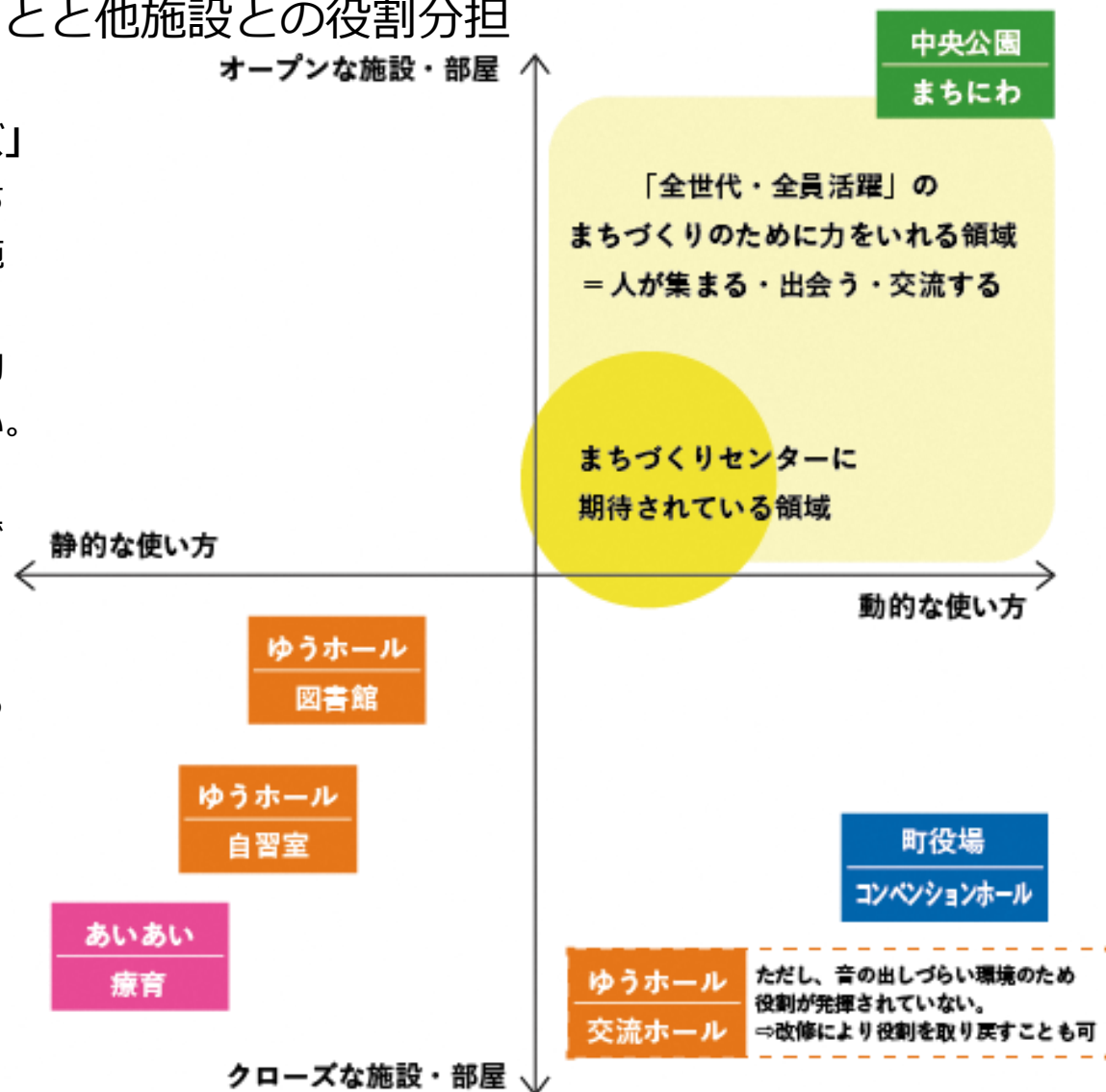
### 3. 導入すべき機能の検討

#### ■ まちづくりセンターの目指すことと他施設との役割分担

施設を考える上で、「オープン・クローズ」「動的・静的」という2つの軸を使い、まちづくりセンターと似た要素をもつ他の公共施設の諸室を使われ方や性格と共に分類した。

既存建物は当時のトレンドもあり、比較的クローズな形で作られていて、転用が難しい。

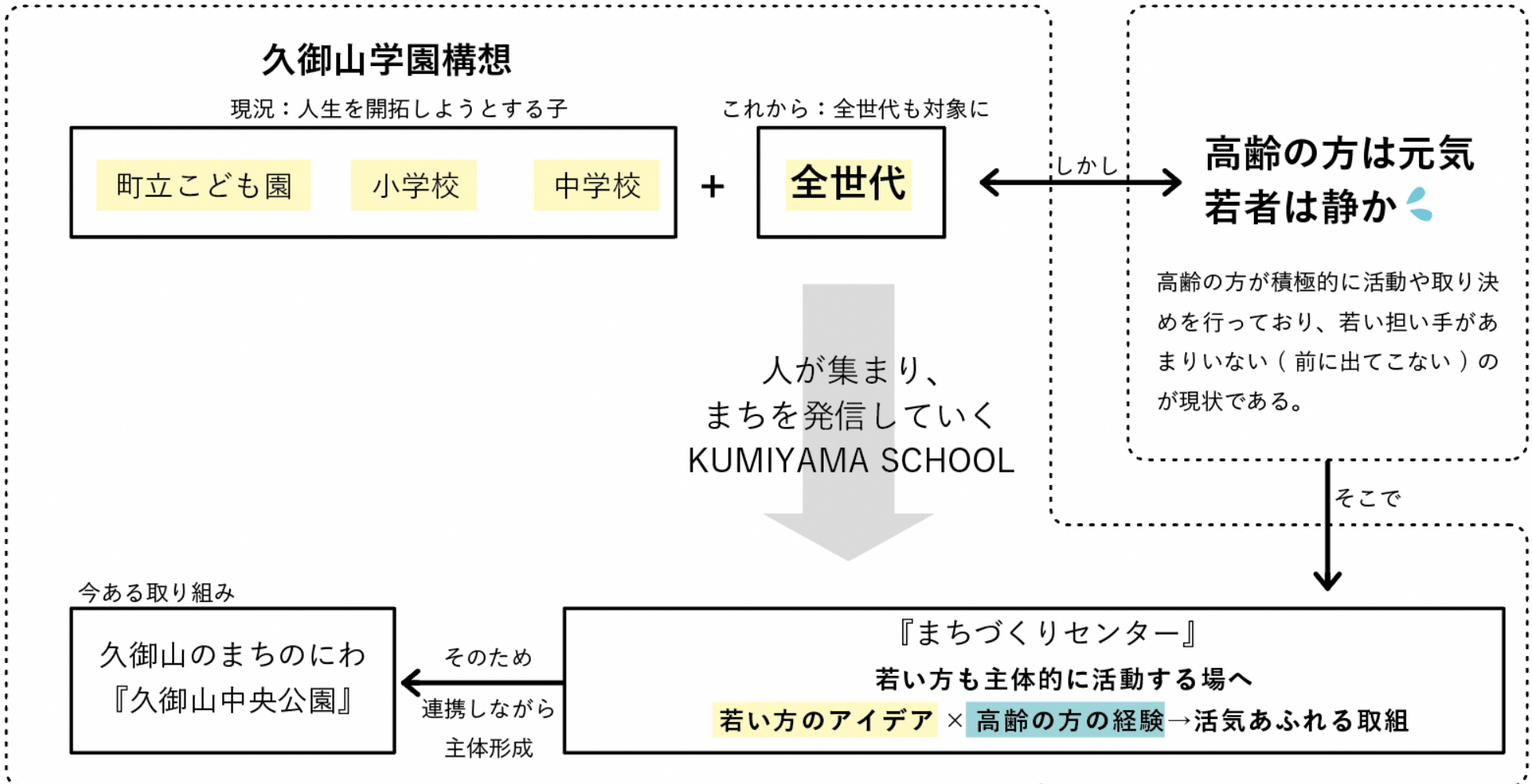
世代間交流、全世代活躍を目指す本施設では、**オープン・動的な空間をベース**として、**他施設と差別化**し、使い勝手の自由度が高く稼働率を上げながら、まちづくりに寄与することを方針の一つとすることが考えられる。



## 4. 住民参加について ①まちづくりセンターがめざすこと

目標 (CCAC 構想)

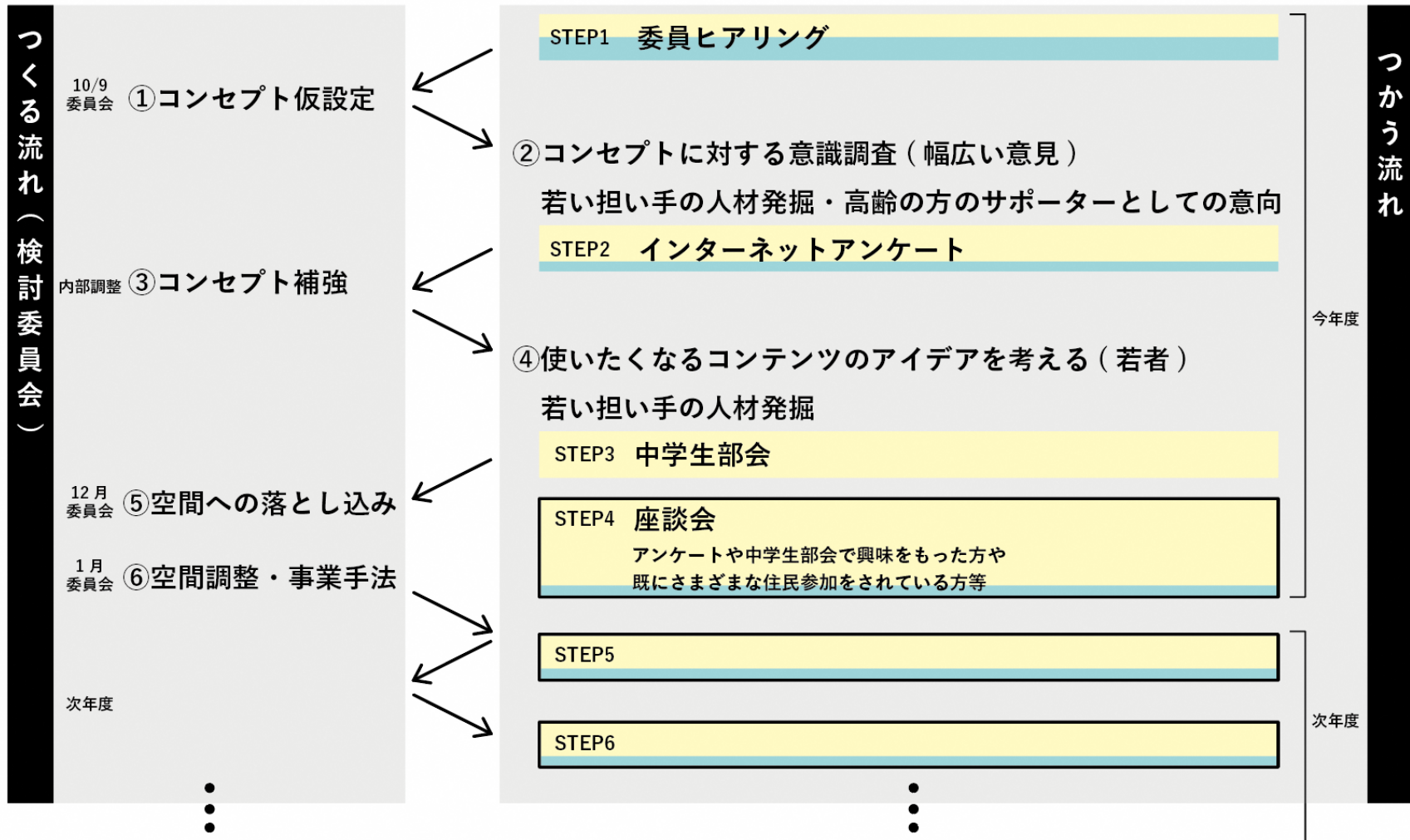
現状 (見えてきた課題)



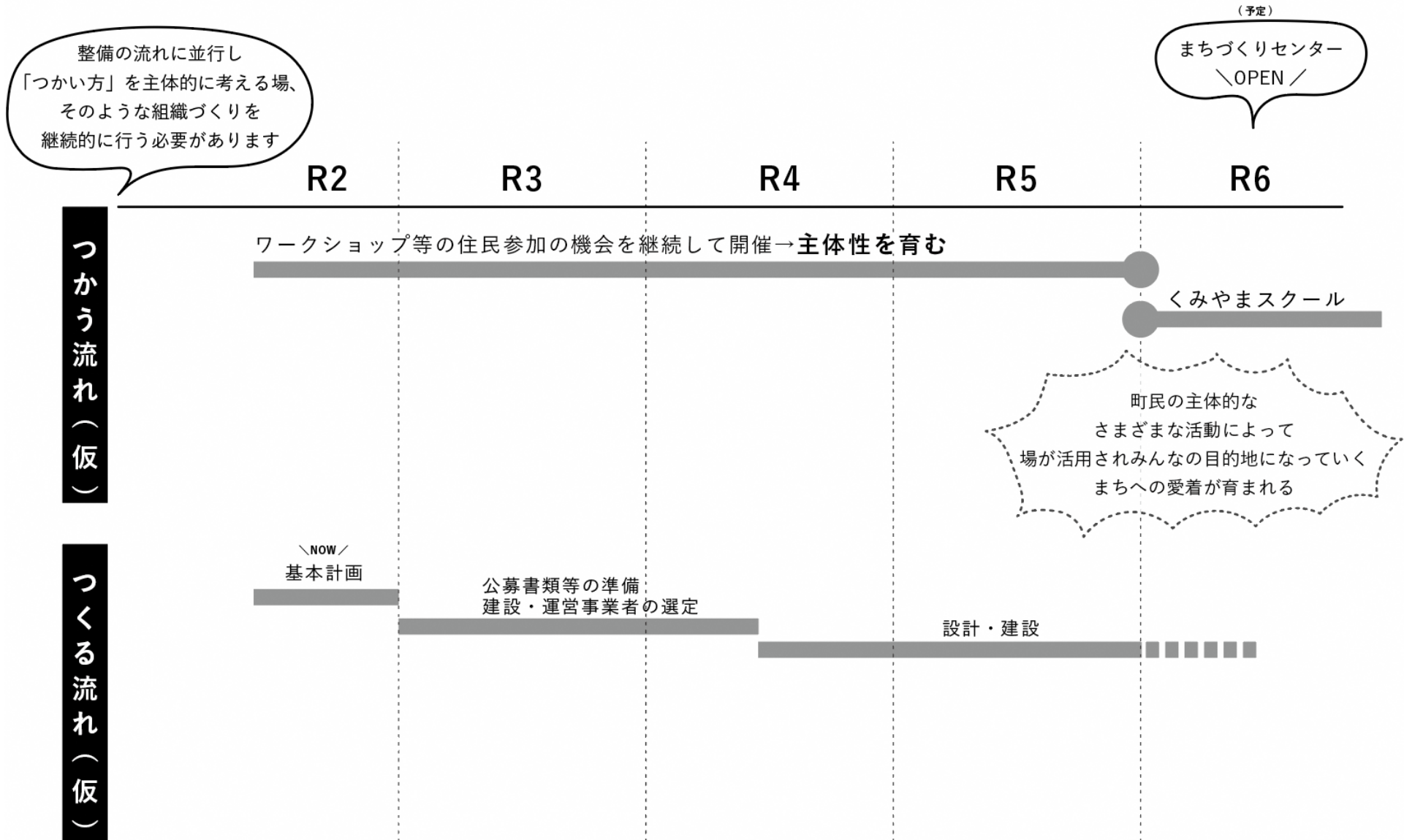
## 4. 住民参加について ②整備のながれと意見調査や住民参加のプロセス

若い方も主体的に活動する場へ

若い方のアイデア × 高齢の方の経験 → 活気あふれる取組



## 4. 住民参加について ③くみやまスクール 住民参加のステップ





## 4. 住民参加について④ アンケートの構成

### 現況調査やコンセプトの仮説を踏まえたアンケートの要点

A: コンセプトの仮説に対する意識調査（共感度や必要性など）

B: コンテンツをつくる人やコーディネーターになりそうな人材→プレイヤーの発掘（意識調査）

アンケート自体を人材の発掘の機会と捉え、今後開催予定の座談会（より主体性をもった方の意見交換の場への参加者発掘の場にもしようと考えています。

①属性	②中央公民館の利用状況	③くみやまスクール・まちづくりセンターについて
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代</li> <li>・性別</li> <li>・居住エリア</li> <li>・職業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の有無</li> <li>・頻度</li> <li>・一緒に使う相手</li> <li>・目的</li> <li>・交通手段</li> </ul>	<p>A: コンセプトの仮説に対する意識調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトの共感度</li> <li>・必要性の有無</li> <li>・まちの中心ができることへの期待値</li> </ul> <p>等</p> <p>B: 人材の発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くみやまスクールのコンテンツをつくることへの興味の有無</li> <li>・くみやまスクールのサポーターへの興味の有無</li> <li>・座談会への参加の意向</li> <li>・人材の紹介</li> </ul>

---

(参考資料 1 : 委員ヒアリング結果要旨)

## 参考資料 1 : 委員ヒアリング結果要旨

---

### ■全体コンセプト

- 中央公民館は、用事がある人しか来ない場所。高齢者ばかりのイメージが強い。
- 目的なしに人がふらっと立ち寄るようなところではない。新しいまちづくりセンターは、「公民館」のイメージから離れ、あそこに行ってみよう！となる場所であるべき。
- 若い人が行きたいと思う場所、中高生が集える場所になると良い。
- 玄関を入った時に明るい場所であって欲しい。
- 町内にはゆうホール他施設がたくさんある。重複機能を検討・整理して、必要なものだけを整理すべき。既存施設の活動が繋がり、良い取組を発信するようなセンターが良い。
- 必要最低限の質素な建物で良い。将来に渡っての維持管理費が心配。補助金等も上手に活用して欲しい。

## 参考資料 1 : 委員ヒアリング結果要旨

---

### ■ ホール

- 現在ホールがないために、地域持ち回りの合唱祭が久御山だけ開催出来ていない。ホールが出来れば、また近隣市町の人にも来てもらえる。
- 中央公民館のホールは、成人式等のイベントをするところとのイメージが強い。
- ホールとしての利用頻度は低い。文化祭等小中学生の発表程度。専用のホールは不要。必要な時だけホールになるような「兼用」での工夫が出来ないか。
- 子ども達が出演する場合には300-400人集まることもあるが、通常は多くても200名程度。
- ゆうホールでは大きな音が出せないなので、多目的ホールが是非欲しい。
- 多目的ホールとしてはゆうホールがあるため、まちづくりCには専用ホールが欲しい。
- 町の行事や発表会用に300人規模のホールが欲しい。
  
- オープンなスペースは災害時にも役に立つ。

## 参考資料 1 : 委員ヒアリング結果要旨

### ■ 諸室

- 部屋を区切ると用途が限定される。オープンの方が色々な使い方が出来る。
- 会議室は企業の面接等にも使われており、収入源になっている。大きな部屋を分割出来るようにすると良いのでは。
- 茶室や和室はサークル活動でのニーズが高い。
- 音楽室、和室、調理室等は残して欲しい。調理室での平日午前の料理教室は意外と人気が高い。
- 図書館は全世代の交流促進に重要な役割を果たす。ゆうホールの図書館と連携した運営は出来ないか。
- 中高生が気軽に立ち寄り、友達等と話せるオープンスペースが良い。高校からは少し距離があるが、中学校からは近い。
- オープン型の部屋だと利用しているグループ以外の人何をしているのかをみることが出来る。

## 参考資料 1 : 委員ヒアリング結果要旨

---

### ■ 既存他施設との関係

- ゆうホールは図書館併設で、近くに団地やこども園もあり、町の内外の人に良く利用されている。
- 未就学児の親は、こども園から近いあいあいホールに集まっている。ただし、あいあいホールは0～2才児が対象。
- 楽しい場所であれば、町の東から西への移動はそれほど問題ではない。

## 参考資料 1 : 委員ヒアリング結果要旨

### ■ 住民参加・運営

- 自治会を通じた文化祭への参加、若い人をターゲットにした講座の開催等の工夫が必要。運営が古い。
- 公民館は年寄りが行く場所、とのイメージがあるが、これでは活気が出ない。
- (町の特性として) 誰かが企画するとこれに乗る人が少なくないが、自分から企画する人は少ない。
- 運営を引き受けてくれる町の人にはなかなかいない。成人式の委員も手が拳がらない。子育てサークルのリーダーもずっと同じ人で高齢化が進んでいる。
- 自治体・老人会も役をやる人がいない。リーダーを育成する機能がつけられないか。
- 自分から声を上げないだけで、やりたいという人はいるのではないか。
- 高校生はターゲットとして重要。ボランティアとして巻き込むことは出来ないだろうか。
- 中央公民館は社会教育課が運営(所管)してきたが、コミュニティセンターとして住民の協議会が運営するのが良い。

## 参考資料 1 : 委員ヒアリング結果要旨

### ■ その他

- 母親向けの習い事があると、子育て層の母親が集まるかもしれない。
- 料理教室、陶芸、絵画等、人気のあるサークルもある。ゆうホールでは、ケーキ作り、勾玉作り等も人気。
- サークル等で作ったものを展示出来るスペースが欲しい。誰かに見て貰うのは生きがいになる。これまでは登録サークルの作品のみの展示だったが、誰でも飾れる場にして欲しい。専用のギャラリーである必要はない。
- 子どもが体を動かして遊べる場所が欲しい。
- 会社を訪問したお客さんとのビジネスランチが出来る場所が欲しい。
- 町内企業の勤務者は町外からの通勤が多い。電車・バスの方向から、仕事帰りにまちづくりCに寄ることは少ないのではないか。
- 外部から先生・講師等に来てもらい主に子供向けの教室を開いて貰うのも需要が多いはず。
- 倉庫の中に文化財が多数保管。図書館機能と合わせて展示出来ないか。
- 災害時の避難場所、備蓄倉庫としての機能も検討が必要。



---

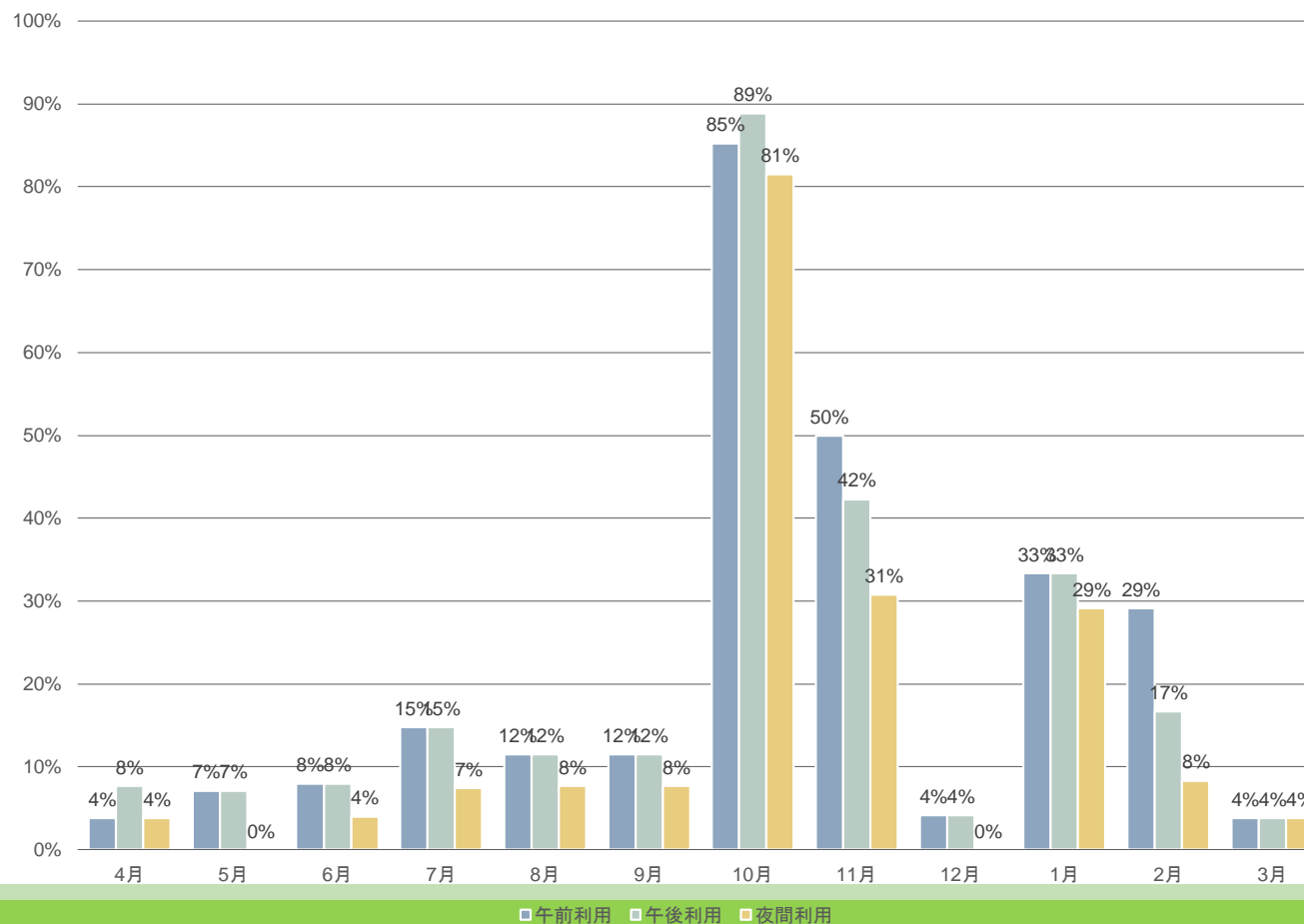
## (参考資料2：中央公民館とゆうホールの稼働率比較)

※平成30年度 久御山町中央公民館あり方検討委員会 意見参考資料より

## 参考資料2：中央公民館とゆうホールの稼働率比較

### ■ 中央公民館のホール稼働率

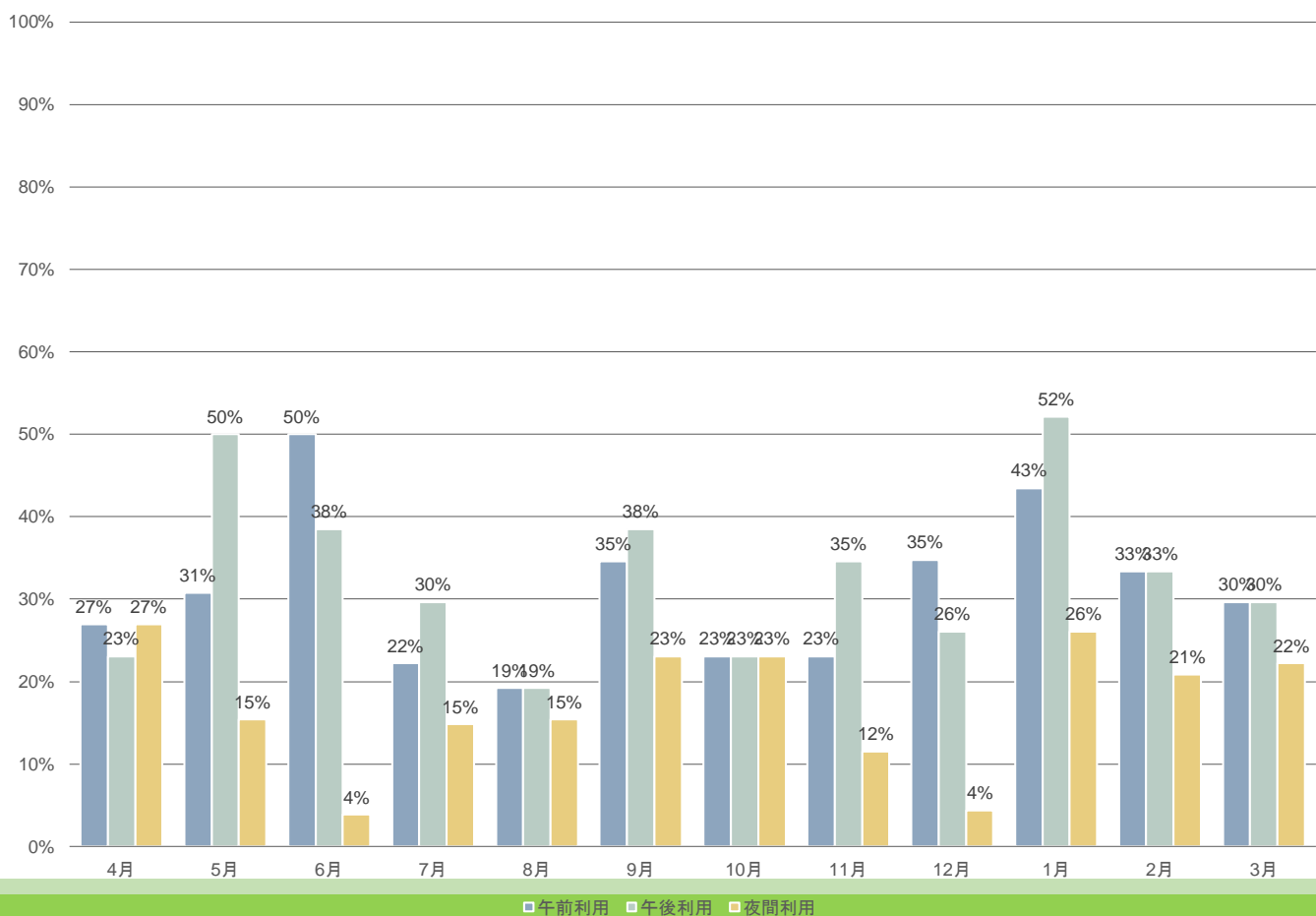
- 10月の稼働率が非常に高く、11月、1月の稼働率も比較的高い
- 午前、午後、夜間の時間による稼働率の変動は少ない



## 参考資料2：中央公民館とゆうホールの稼働率比較

### ■ ゆうホールの交流ホール稼働率

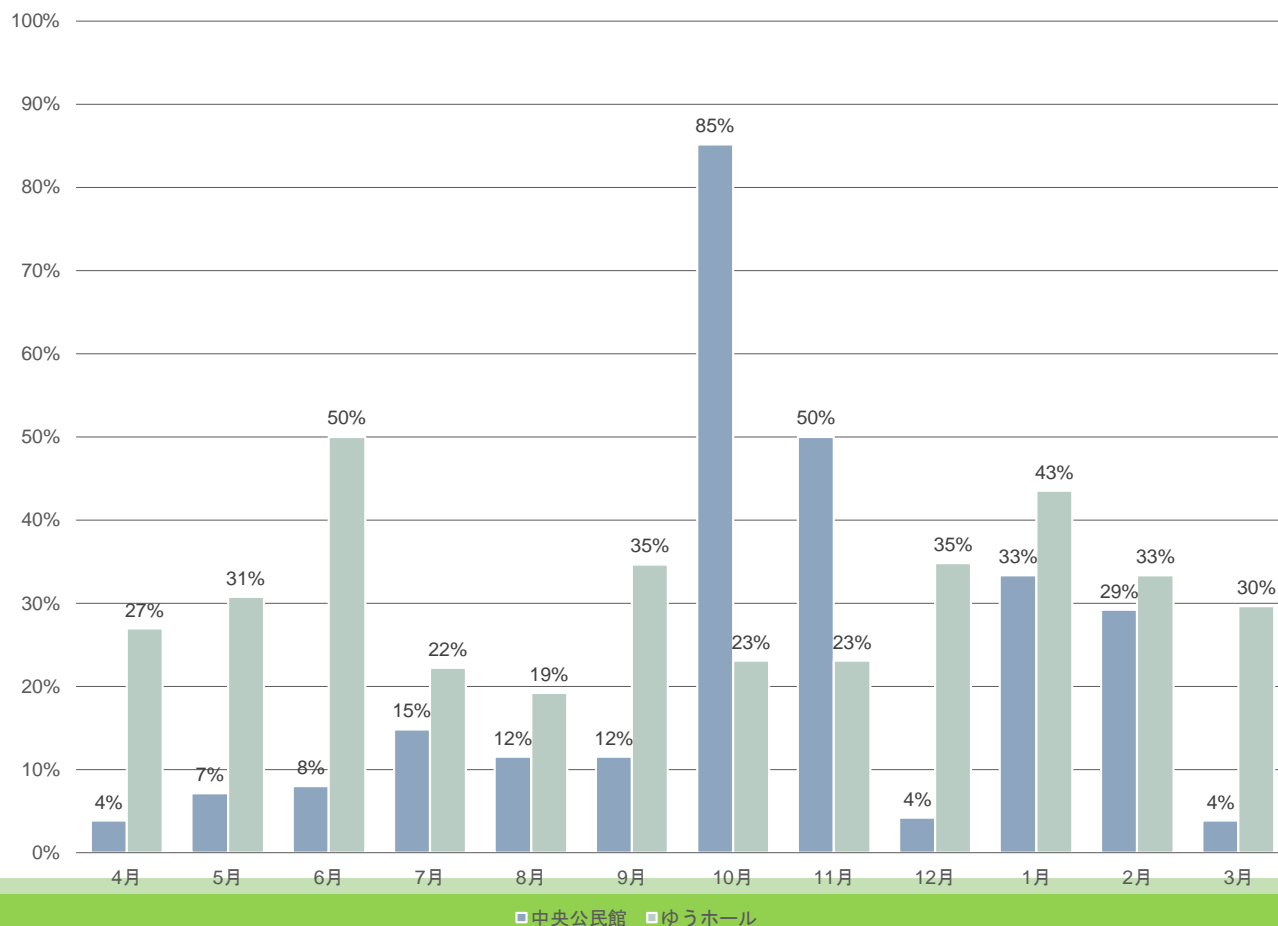
- 突出して稼働率が高い時期は無いが、5月、6月、1月は高く、年間を通じて約3割の稼働率
- 午前、午後、夜間の時間による稼働率の変動がある



## 参考資料2：中央公民館とゆうホールの稼働率比較

### ■ 午前利用の稼働率における中央公民館とゆうホールの比較

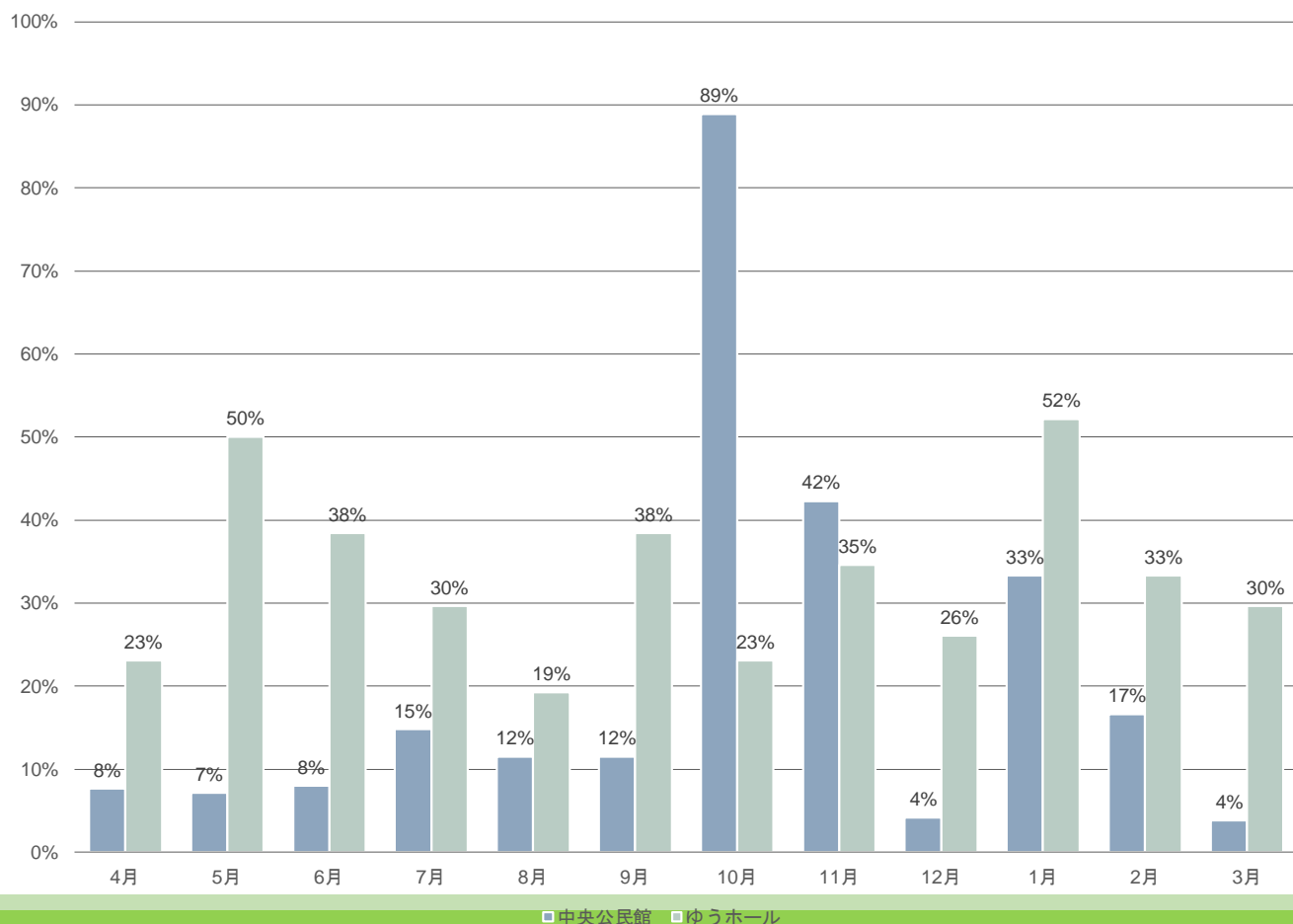
- 10月以外で、定員220名以下のイベントであれば、ゆうホールでも代替の可能性
- 課題はアクセス、駐車可能台数、防音性



## 参考資料2：中央公民館とゆうホールの稼働率比較

### ■ 午後利用の稼働率における中央公民館とゆうホールの比較

- 10月以外で、定員220名以下のイベントであれば、ゆうホールでも代替の可能性
- 課題はアクセス、駐車可能台数、防音性



## 参考資料2：中央公民館とゆうホールの稼働率比較

### ■ 夜間利用の稼働率における中央公民館とゆうホールの比較

- 10月以外で、定員220名以下のイベントであれば、ゆうホールでも代替の可能性
- 課題はアクセス、駐車可能台数、防音性

